

博物館の シロナガス クジラが 青いわけ



博物館の模型とはく製の役割

2018 年 12 月 16 日 (日) 14:00~16:30 (開場 13:30)

光塾 COMMON CONTACT 並木町

参加費：1000 円（学生 500 円）／市民研会員は半額かつ同伴者割引あり／事前予約が必要です（定員 40 名）

講師 **森 健人**（国立科学博物館 動物研究部 支援研究員）

中川龍一（東京海洋大学 海洋科学部 海洋生物資源科学科 4 年 集団生物学研究室）



博物館展示における模型やはく製は何のためにあるのでしょうか？現在、標本作成の最先端で試行錯誤している若手 2 名を招いて、掘り下げていきます。森さんは福井県立大学在学中にコスプレに熱中、資料集めの中で解剖学を志し、東京大学大学院にてラッコの股関節の解剖学で博士号を取得。現在は博物館標本と文化的創作（コスプレ）とを繋ぐべく、標本の 3D モデルおよび 3D プリントレプリカの製作と普及に励んでいます。中川さんは、大学で生物系サークルに入った影響で水生生物の標本作製に取り組みはじめ、魚類の生きている時の色彩を保った色彩保存標本、サメのヒレの触れる標本など、新しい標本技術とその利活用に興味を持ち、卒論とは別に独自で研究を進めています。2018 年 7 月には「博物ふえすていばる！5」で「色彩保存標本展」として出展。当日は模型やはく製を手にしていただき、お二人の現場での試行錯誤や市民との交流を通じて感じた話題を皆さんと共有・検討する機会にしたいと思います。

●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩 1 分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷 3-27-15 光和ビル地下 1 階

tel. 03-6427-6462

市民科学研究室とは

市民科学研究室は (1) 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、(2) 様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、(3) "持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいる NPO です。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

市民科学研究室と関わっていただくための窓口

市民研は様々な活動を日々展開しています。市民研に関わっていただくための方法も様々です。以下のいずれについても詳しくはホームページでご案内していますが、お気軽にお問い合わせいただければ、と思います。

- ▶ 会員になる: 年間 3000 円「ダーウィン会員」と年間 1 万円の「レイチェル会員」
- ▶ 寄付をする: オンラインからも「一口 1000 円」で受け付けています
- ▶ イベントに参加する: 市民科学講座が毎月 2 回ほど Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 研究会に参加する: 会員であることが必要 Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 作業を手伝って支援する: アルバイト (有償) となる作業もあります
- ▶ 記事論文読んでコメントを送る: ホームページの各記事のコメント欄から
- ▶ 出版物や動画を購入・視聴する: ホームページの「動画配信」「出版物・販売物」より
- ▶ 講演や出前講座を依頼する: 電磁波計測、子ども料理科学教室などもあります
- ▶ 会議室を借りる: 15 人までが座れる広めのスペース 1 時間 1000 円です
- ▶ 連携団体となり一緒に事業をすすめる: これまで様々な助成で実現してきました
- ▶ 科学技術に関して気になることを相談する: 常時メールで受け付けています
- ▶ 新たな研究や活動のテーマを提案する: 皆さんのアイデアを求めています!

お申し込みは市民研ホームページ
www.shiminkagaku.org/
の専用サイトでも受け付けています

市民研 @ 光塾
NPO 法人 市民科学研究室
COMMON CONTACT
並木町

お申込み・お問い合わせ : 03-5834-8328 renraku@shiminkagaku.org